胃がん検診（胃X線検査）の流れ

✿検診前日
食事は普通にとり、夜９時以降は禁食してください。
就寝前まで水分摂取は可能です。ただし、アルコールは摂取しないでください。

▼

✿検診当日
①起きたら食事はとらないでください。
　ただしコップ１杯(200ml)程度の水は検診の２時間前までなら飲んでもかまいません。
②血圧や心臓のお薬は早めにお飲みください(検診の２時間前まで)。
③検査が終了するまで喫煙しないでください。(検査精度が低下する場合があります)

▼

検診会場

問診（自覚症状・家族歴・過去の検診の受診状況等）

▼

☆撮影の準備
薄手の衣類１枚で撮影します。金具のついた衣類や体を締め付けるゴムが入った下着・アクセサリー・エレキバン・湿布等は外してください。

▼

①発泡剤とバリウムを飲む
係の指示のとおり、発泡剤(胃をふくらませる薬)とバリウム(造影剤)を飲みます。
⚠バリウムを飲む時にむせたりして、気管支に入ってしまった場合(誤嚥した場合)は検査を中止する場合があります。
※発泡剤は飲むとゲップをしたくなりますが、撮影が終わるまでゲップを出さないように我慢してください。
(必要以上にゲップが出てしいまい撮影に支障をきたす場合は、追加で発泡剤を飲んで頂く場合があります。)
②X線撮影
技師の指示に従いうつ伏せや仰向けなど体を回転させ、 X線を当てながら胃を撮影します。この時、両わきの手すりをしっかりとつかんでください。

☆下剤を飲む
検査が終了したら、なるべく早めに下剤を多めの水(コップ2～3杯程度)で飲んで下さい。
便がでるまで水分を多めにとるようにして下さい。(水分の種類は問いません)
食事は普通通りに食べてください。白い便が出ますが、バリウムですのでご安心下さい。
⚠バリウムは腸で水分を吸収すると、非常に固くなってしまいます。
水分をとらずに放置しておくと排泄が困難になり、まれに外科的治療が必要になる場合がありますので、バリウムを排泄するまでは断続的に水分をとるようにして下さい。

▼

異常あり

▼

精密検査

▼

がん → 治療

良性疾患 → 主治医の指示に従ってください

異常なし → 次回の検診

異常なし → 次回の検診